

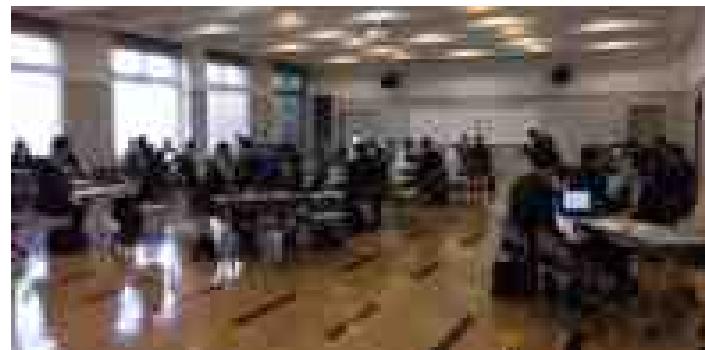
地元企業と若者をつなぐ合同就職面接会

【目的】

地元企業の人材確保のため、学生及び35歳以下の若者に地元企業を知る機会を設け、若者と企業とのマッチングを図る。

【実施概要】

- ◆対象者◆ 平成30年3月卒業予定者及び35歳以下の若者
- ◆参加企業◆ 金沢市内に本社を有する企業18社
- ◆内容◆ 学生向け直前セミナー
企業PRタイム（2分程度×18社）
企業との面接



役割分担【金沢市】

- 参加企業の募集
- 広報での周知
「金沢市はたらくサイト」への掲載
- 当日配布資料の作成
- 当日の運営 など

役割分担

- 【ヤングハローワーク金沢（金沢新卒応援ハローワーク）】
- 登録者、来所者への周知
- 大学等への周知
- 当日の相談ブースでの登録、面接や履歴書作成のアドバイス

【効果】

- ・平成29年度は参加者14名のうち採用者4名となった。
- ・参加者の訪問ブース数は平均3.2社で、ほぼ全企業で面談者が2人以上あった。参加企業のアンケートでは、開催時期やPRタイムなども含め「概ね満足」との意見をいただいた。

〈金沢市コメント〉

当日の会場に設けたハローワークブースで相談を受けながら面接に向かう参加者も見られた。今後も連携を図りながら実施していきたい。

〈労働局コメント〉

大規模な面接会とは異なり、企業も若者もじっくり面接に望むことができる。面接会へ参加後、ハローワークを利用する方もおり、今後も継続していきたい。

【岐阜県郡上市】【岐阜労働局ハローワーク岐阜八幡】

地元企業の魅力を内外に広く周知、アピールする事業を展開

～若年者層に対する継続的な地元企業の魅力発信を行い、若年者の地元定着を目指す～

【課題・目的】

若年者の地元就職の促進を図るため、早期から企業を知ってもらう仕組みづくりと進学で転出した若者のUターン等を促すための事業を展開。

【実施概要】

- ◆早期から地元企業を知ってもらう仕組み
 - ①市内の産業紹介DVDの作成、配布（小学生対象）
 - ②郡上わく！わく！ワーク見学会（中学生対象企業見学会）
 - ③夢づくり市内企業研修（小、中学校教職員対象企業見学会）
- ◆高校生への企業説明会
 - ①郡上未来塾（全8回）②郡上高校企業ガイダンス
- ◆大学生や既卒者等Uターンを促す事業の実施
 - ①大学等就職担当者と市内企業との情報交換会
 - ②郡上市合同企業説明会 in 名古屋



《ハローワーク岐阜八幡と郡上市の連携による事業》

【役割分担】

【郡上市】

- ・大学等訪問し情報交換
- ・各種事業の周知
- ・会場設営等事業の運営
- ・関係機関との調整
- ・企業への周知、連絡等

【商工会】

- ・ガイドブックの作成
- ・ホームページの運営管理
- ・各種事業の予算管理

【ハローワーク】

- ・管内高校との調整等
- ・参加事業所の選定、連絡等
- ・職業相談ブースでの相談等

＜郡上市コメント＞

高校卒業後、8割が進学等により市内を離れる現状から、若年者の人材確保に向けて継続的に事業を推進していきたい。

＜ハローワークコメント＞

若年者層の定着には早い段階から地元企業の魅力を継続的にアピールする必要がある。連携することにより、対象範囲の拡大や周知方法等、多様な事業の展開が可能となる。

【効果】

- ◆事業を継続的に実施した結果、高校生へ直接事業所のアピールをする機会等から、管内就職率が増加した。（H20：39.8%→H29：57.8%）
- ◆名古屋で面接会を行い、Uターン以外に移住希望の若者等Uターンの相談もあった。
- ◆雇用対策協議会会員には、連携し雇用対策に取り組んでいる姿勢をアピールするとともに事業の継続的な実施を望む声が多く聞かれた。

《照会先》 岐阜労働局職業安定部職業安定課（TEL058-245-1311）

【大阪府】【大阪労働局大阪わかものハローワーク・あべのわかものハローワーク】

ものづくり産業の魅力発信！ものづくりって何だ？！バスツアーを実施

【課題・目的】

雇用失業情勢が改善する中、求職者の事務職志向は根強く、事務職以外の職種で人材が必要な企業と求職者のミスマッチが生じており、中でも、大阪の基幹産業である「ものづくり産業」においては、若者のものづくり離れもあり、多くの企業で今後の成長を担う人材が不足しています。

このため、ものづくり分野への職業意識の啓発ともものづくりを支えるハロートレーニング（公的職業訓練）の活用を促進するため、若年求職者を対象としたバスツアーを開催しました。

【実施概要】

- ◆就職支援プログラムの一環として、希望職種にかかわらず、参加者全員を対象に、企業及び職業訓練校を見学するバスツアーを開催。
- ◆製造業のイメージを身近に感じてもらうため、企業では実際の製造現場を見学し、職業訓練校では、訓練風景や施設を見学し、指導員（トレーナー）から直接訓練内容を説明。

【役割分担】

【大阪府】

- ・職業訓練内容の説明
- ・ものづくり産業の魅力紹介

【労働局・ハローワーク】

- ・求職者への参加勧奨
- ・バスの手配
- ・ツアーのコーディネート

【効果】

- ◆参加者数 全5回 計88人
- ◆参加者アンケートでは、約9割がものづくり分野に魅力を感じたと回答しており、ものづくり産業の魅力発信と職業意識の形成に寄与した。



＜大阪府コメント＞

ツアー参加後、技術専門校へ応募、入校いただいた方もあります。実際に見て体感いただくことの大切さを実感しています。

＜労働局ハローワーク コメント＞

大阪府との連携により、ハロートレーニングの具体的な内容を伝えることができました。引き続き連携を強化し、ものづくり産業の魅力発信に努めます。

【岡山県高梁川流域圏域7市3町】【岡山労働局・管轄6ハローワーク】

雇用確保対策・U I Jターン促進のため、共同で面接会等を実施

【課題・目的】

岡山県西部を流れる高梁川流域圏の7市3町と管轄する6ハローワーク・労働局が「高梁川流域就職面接会等開催事業実行委員会」を組織し、地元企業の雇用確保対策、流域外からのU I Jターンを目的として面接会や企業見学バスツアー等を連携して開催。

【実施概要】

- ◆ 新卒者・35歳以下の既卒者、U I Jターン希望者等の就職促進、流域管内企業の労働力確保のため、面接会を年2回（岡山会場・倉敷会場）において開催。翌春卒業予定者を中心として企業説明会を開催。
- ◆ 圏内における魅力ある企業の発掘、学生等への情報発信・交流を目的にバスツアー形式による企業訪問を夏季・冬季に計5回開催。

【役割分担】

【流域圏市町】

- ・各自治体企業に参加要請を実施。
- ・県内及び県外大学等へ事業実施に係る説明や学生への周知を依頼
- ・各自治体HPでの周知・広報
- ・移住、定住相談の実施。

【国】

- ・地元企業に就職を希望する求職者や管轄内の大学等へ周知・広報を実施。
- ・新卒応援HWから学生への周知
- ・労働局HPによる開催周知

【効果】

- ◆ 面接会を2回、説明会1回実施し、合計96社、学生等約110人参加し11人が流域圏内企業に就職。
- ◆ バスツアーは、学生延べ80人が参加し、企業を訪問（延べ14社）。情報交換を実施すること等により、地元企業の知識を習得。



◀上段；面接会状況、下段；バスツアー様子▶

＜倉敷市コメント（事務局自治体）＞
1人でも多くの方に流域管内事業所に就職していただくためにも、今後もハローワークと連携を図っていくこととしたい。

＜労働局コメント＞

単体の自治体のみではなく、流域を形成する自治体と管轄のHWが共同して雇用確保・U I Jターンのために事業実施することは、有意義であり、情報の共有化の観点からも効果的である。